

ひなたぼっこ通信

2014年
3月号

ケアハウスひなたぼっこ

竣工祝賀会3月29日(土)、内覧会30日(日)
社会福祉法人ひなたぼっこに対する常日頃のご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。
4月1日に関係者の皆さまのご支援、ご協力のもとで65床のケアハウスひなたぼっこをオープンする運びとなりました。
左記の日程で竣工祝賀会及び内覧会を開催いたしますので、ぜひ、ご来場をお待ちしております。

☆場所：諏訪郡原村南原18638・1
☆竣工祝賀会3月29日(土) 午前十時半～
☆内覧会3月30日(日) 午前九時～十二時

*駐車場のこともあり、できるだけ乗りあわせでお願いします。
お問い合わせは ☎0266・61・2335

大雪(宅幼老所編)

「こんなにたくさん雪は生まれてから今まで見たことがないわ」と利用者さんもおっしゃる程の記録的な大雪で、ひなたぼっこの施設もすっぽりと雪に被われてしまい、宅幼老所では16日(日)に臨時休業とさせて頂いて

ました。どこを見ても雪、雪、雪。雪のやりに場につまらないう状況でしたが、森理事長が大型の重機を運転し、手際よく除雪して所々に巨大な雪の山を作っていました。また、ペランダの屋根が雪の重みで下がって落ちてしまうので、雪を下ろそうと男性スタッフ陣が重機のシャベルに乗り、屋根近くまで上がり雪をかき出すというダイナミックな雪かき風景もありました。利用者のみなさんは「すごいね」と感心して見ていました。それにしてもこの巨大な雪の山、いつ消えるんでしょうか？ 自然の驚異をつくづくと感じた大雪でした。



ひなたぼっこランチ(宅幼老所)

毎月第4日曜日は『ランチ』の日です
どうぞお気軽にお申込みください
3月23日(日) 10時～13時
申込み：0266-61-2335 山下まで

脳トレ第一弾 『詩』

宅幼老所デイサービスをご利用されているYさんが2月のある日、お昼寝から起きてこられて「紙と鉛筆をかしてください」とおっしゃいました。早速お渡ししたところ、スラ

スラとしたためられました。字も大変すばらしいですが、活字のため載せられないのが残念です。「紹介させていただきます。」

朝の道

「おはようございます」
介護士さんが顔をのぞかせ
室内に入られる
“高齢者送迎車”に誘導され
車中の人になる
しばらく走り二車線の
ハイウェイ道路になる
やがてオレンジ色の
農協の時計が見えて来る
向いの山の上部は
もやに包まれている
つき当りは高等学校
左右の分れ路を右手に入り
白一色の運動場が見えて来る
人影のないのは
生徒さんは各教室に入っているからだろう
通い慣れて来た道
たくみな運転にやがて
平屋の宅幼老所に到着する
笑顔の介護士さんに迎えられ
今日又始まる未知の世界
感謝で今日も終わらせて頂きたい

『介護教室』参加しませんか

研修報告 最近はこんなに変わった

『お年寄りの膝・腰痛への対応』

講師・介護職 油井 優美子

☆みなさんの参加お待ちしています

2月の介護教室『身体こりこり 孝ちゃん介護教室②』に参加された方々からは、「自分で出来るマツサージを教えてもらって、来てよかった」とか「骨折予防には、普段から鍛えておくことが大事であることを教えていただいた」等の声が多く聞かれました。

腰痛予防教室

2月初旬に全職員を対象として、介護センター・花岡さんから講師を派遣していただき開催しました。なぜ腰痛が起きてしまうのか？様々な場面をイラストで確認してから腰痛予防対策を詳しく学びました。まず人間の筋骨格構造を知った上で負担の少ない介助姿勢をとり、福祉用具を上手く使用して腰痛を予防する。介護職に腰痛はつきもの!!という観念を取り除き、私達介護職がいつも健康でいることがサービスの質の向上を目指す礎になると感じました。

大雪(グループホーム編)

記憶にも記録にも残ることになりそうな先日の大雪でしたが、その影響で交通網がマヒしたことからグループホームには、17、18日分の朝・昼食の食材が届かず、急遽ある食材で食事を作るようになりました。レシピなし

で10人前後の食事を用意するのは、とても緊張しましたが、普段と違うことで職員同士の団結力が強まりました。そして気になるお味の方は…入居者のみなさんは、いつも以上にきれいに召し上がられて「おいしいねえ」という声もあり、大雪のおかげで楽しいひとときが味わえました。

ハッスル、ハッスル

「♪鬼さんこちら♪」とグループホーム入居者のみなさんの大きな声の合図に合わせるように「♪おにいのパンツはいいパンツ♪強いぞお強いぞお」と歌いながらホールに登場したのは赤鬼と青鬼でした。すると一斉に、豆まきならぬ紙ボール投げが始まりました。(この紙ボールは、入居者のみなさんと職員が新聞紙を丸めて作ったものです)。「鬼はそこお!!福はうちい!!」と言う方あり、「おっかねえ、おっかねえ」と言いながらも必死でボールを投げる方ありで、みなさんが力を合わせると、鬼たちは「逃げるぞお」と叫びながら去っていききました。続いて職員による「おにのかたなづくり」と「ふくはうちおにもうち」という本の読み語り

が始まり、みなさんは「ほお〜」と頷かれたり「へえ〜」と感心されたりして物語に聴きいっていました。そこへ突然、先程とは全く別の鬼が現れましたが、今度の鬼は入居者のみなさん一人一人



と握手をして去っていきました。今年も節分を行うことで邪気を追い払い、入居者のみなさんの無病息災を願いました。

贈り物♡

17日、一面に広がる銀世界で一匹の動物が丸くなっている姿を、職員の一人が見つけた。ネコにしては耳が大きく、よくよく見るといわゆるキツネ顔…そうです、真正正銘のキツネが雪の上で寝ているのでした。入居者のTさんは「えっ、キツネ?」と驚かれています。大自然がくれた素敵な光景に、心の奥がぽつとあたたまりました。笑顔がこぼれる出来事でした。



職員からひとこと

私がグループホームっていいなと思えることがあります。それは、利用者の方のみなさんの笑顔です。とてもよい気持ちになります。これからも利用者様が老後がよかったですと思えるよう、日々努力していこうと思います。

(グループホーム 伊藤 久子)

発行：社会福祉法人ひなたぼっこ

T399-0211

富士見町富士見11650-1

☎0266-61-2335

FAX0266-61-2336